

## 4. 戦略的・横断的な施策展開に関する方針

### (1) 「価値あるまち」の実現に向けた取り組みの重要性

今後の少子高齢社会、そして人口減少社会は、居住の場として、また、経済活動の場として、そしてさらに自己実現の場としても、都市や地域が選ばれる時代です。

都市間競争が激しさを増すなかで、分権改革のメリットを活かしながら、地域社会が総力を結集して、魅力と活力を持続的に発展させていく政策を生み出し、個性を生かしたまちづくりを進めていくことができるかどうかによって、盛衰が左右される時代が到来します。

こうした時代のなかで、豊島区がこれまで以上に、「住みたいまち」、そして「訪れてみたいまち」として評価され、選ばれるためには、都市や地域としてのブランドを育てていくことが重要です。ブランドとは、地域の個性と将来にわたる持続可能性を育てる都市経営に対する信頼です。

住み、暮らし、働き、学び、活動し、交流していくうえで、その地域が提供するハード、ソフトの魅力が総合的に将来にわたって持続されることが信頼であり、その信頼こそが「価値あるまち」をかたちづくる最も重要な要素となります。

こうした「価値あるまち」を効果的に実現していくためには、分野別計画の24の政策をそれぞれに推進するだけでなく、新たな魅力と活力の創造に向けて戦略的に政策相互間の連携を進め、相乗効果を発揮させながら総合的に事業展開を図ることが重要です。

### (2) 戦略的・横断的な施策展開を促進するプランの策定

「価値あるまち」の創造に向けた総合的な施策展開を促進するためのテーマとして、「文化」「健康」「都市再生」そして「環境」の4つを設定します。

「文化」と「健康」は“人”に、「都市再生」と「環境」は“まち”に対応するものであり、平成15年3月に議決した基本構想の将来像である「未来へ ひびきあう 人 まち・としま」を基本計画のなかで具体化するものです。

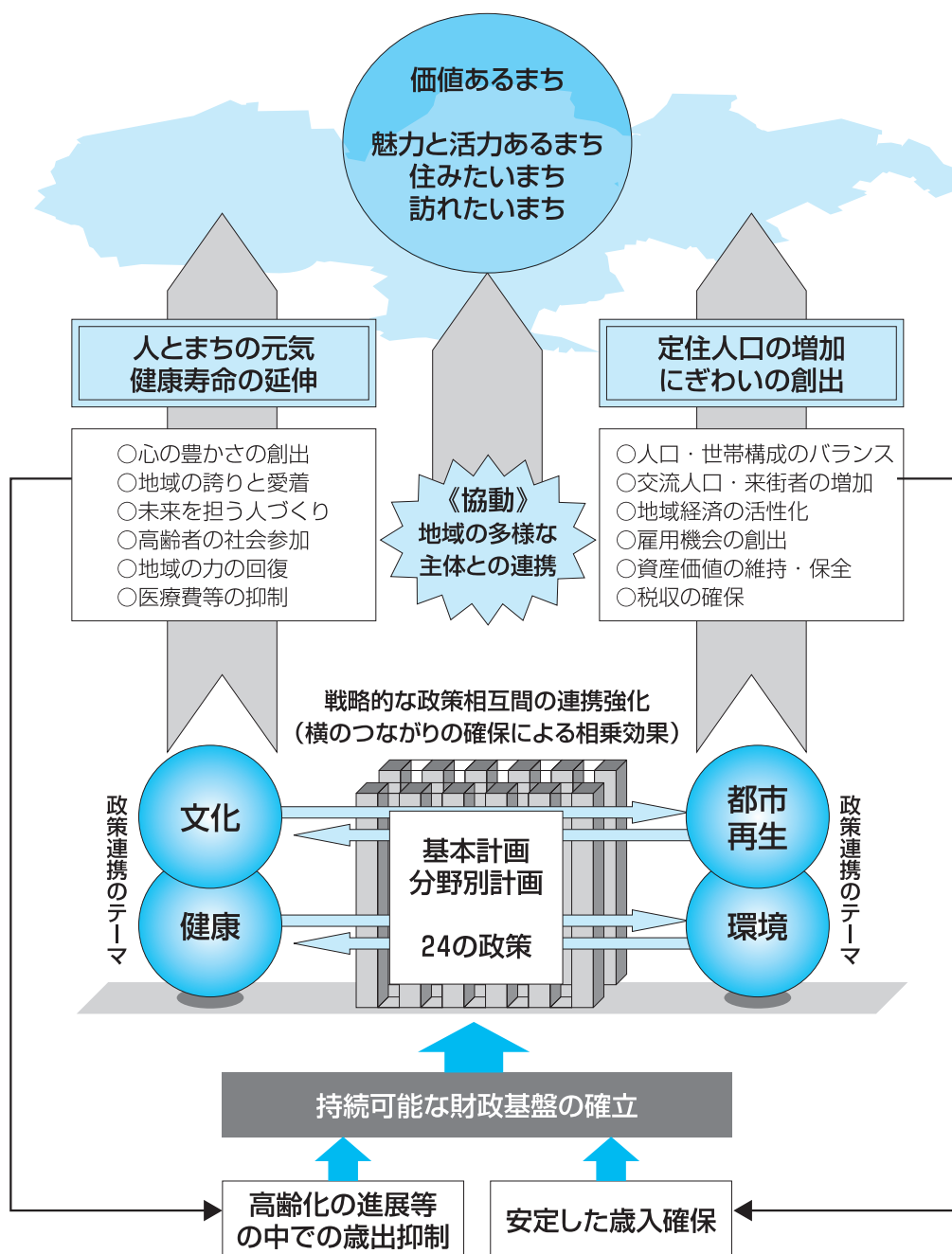
こうした4つのテーマを機軸として、分野別計画における24の政策を横断的に結びつけながら、戦略的に価値あるまちづくりに取り組みます。

そして、都市としての魅力を高めることで、定住人口の増加、バランスのとれた人口・世帯構成の確保、交流人口や来街者の増加、地域経済の活性化、そしてさらに雇用機会の創出や資産価値の保全等を実現するとともに、安定した税収等の確保につなげていきます。

また、「健康」をテーマとして位置づけることで、横断的な施策連携の機軸とすることで、本格的な高齢社会の進展に伴い、今後も増加が見込まれる社会保障や医療に関する歳出の抑制を図ることで、持続可能な財政構造を確立していきます。

「住んでよし、訪れてよし」と評される「価値あるまち」を築いていくため、基本計画の実施計画として策定する「行財政改革プラン」において、「文化」「健康」「都市再生」「環境」をテーマとして、戦略的かつ横断的な施策展開を図るプランの具体化を図ります。

価値あるまちの実現に向けた「分野別計画」相互間の連携  
「文化」「健康」「都市再生」「環境」をテーマとした戦略的・横断的な施策展開



#### 4. 戦略的・横断的な施策展開に関する方針

価値あるまちの実現に向けた「分野別計画」相互間の連携  
「文化」「健康」「都市再生」「環境」をテーマとした戦略的・横断的な施策展開

